


市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報情報課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索 

9月1日号への掲載の申込みは、7月21日(火)までに、
広報情報課

✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

※2019年8月から掲載要項・申込用紙が変更になっています。確認の上、申込みしてください。

広報みしま	締切日
10月1日号	8月24日(火)
11月1日号	9月23日(木・祝)
12月1日号	10月26日(火)



▲市民団体応援コーナー詳細

キッズアーティストになろう！

☎①7月24日(土)午後1時30分～4時30分、②25日(日)午前10時～午後4時30分
 場①モン・ミュゼ沼津②ルンビニ幼稚園(沼津) ☎①現代アーティスト木村若菜展の作品鑑賞とトーク②参加者が共同して絵画制作 ☎小・中学生※全回参加できる人定20人用・☎7月11日(日)までにアルテ・プラサホームページまで (<https://art plaza.club/2021ws>)

中郷バドミントンクラブ会員募集

☎毎週水曜日午後7時～9時 ☎中郷小学校体育館 ☎1回200円または年会費2,500円 ☎園長田 ☎090・1622・7738

三島市五十雀山歩会新会員募集

☎毎月1回(原則月末日曜日)午前7時～午後5時 ☎静岡・山梨・神奈川の野山を3～5時間歩き景観を楽しみ草花を愛でる。初・中・上級のコースがあり選択して参加可能。年1回宿泊の特別山行あり ☎▶年会費2,000円▶参加費実費3,500円程度 ☎成年男女 ☎園大村 ☎981・4766

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

Serialization of JICHIKAI by JICHIKAI for JICHIKAI Serialization of CHONAIKAI by CHONAIKAI for CHONAIKAI

交流の場を通して地域のきずなが生まれているような、そんな温かい光景が浮かんでくれます。

取材者：関野浩之さん
(徳倉第一町内会長)



誇れる私たちの活動

これで、
自治会・町内会！

活発に活動を行う自治会・町内会を紹介！

\ NO.12 /

令和元年度自治会活動表彰
副会長賞受賞

富士ビレッジ自治会
加入世帯▶約640世帯
受賞歴▶富士ビレッジコミュニティサロン「ほっとカフェ」で副会長賞受賞



▲フラダンスの発表の様子



▲健康体操で楽しく交流します

今後の課題は何ですか？
新型コロナウイルス感染症で厳しい社会情勢のなかで、この地域の「ほっとカフェ」の在り方が問われます。「絆」を今後どのように紡いでいくかが課題です。

活動内容・目的は何でしょう？
地域住民が楽しく知り合う場づくりを通して、「絆」をさらに深める目的で始めて約7年です。当初は高齢の方が多かった「ほっとカフェ」ですが、今では子育て中の若いお母さんたちの子連れ交流や情報の交換の場、そして子どもと地域の人たちとの交流の場にもなっています。

歴史の小箱

地域の歴史

—長伏—

No.398

今回は長伏地区の歴史と松毛川を紹介いたします。

長伏は、西側を流れる境川を挟んで清水町と接し、南を流れる狩野川を挟んで沼津市大平と接する三島市の南西の端に位置する集落です。この地名は室町時代以降の文献で見ることができ、「長布施」と書かれることもありましたが、江戸時代中頃に本長伏村・新長伏村と二つに分かれたことがあるようですが、江戸時代後期、天保の頃にはまた一村に戻ったようです。

郷土資料館では、7月22日(木・祝)から企画展「三島のはじまり 旧石器～古墳時代」を開催します！

郷土資料館(楽寿園内) ☎971・8228

狩野川と境川の合流部にあたる長伏に住む人々は、幾多の洪水・氾濫により、永く暮らしを脅かされてきました。水がつくたびに牛や馬を連れ、集落の中で最も標高の高い鍛戸神社へ避難しています。水に囲まれ屋根を突き破って逃げた、いつ水がきてもいいように二階に寝かさされたなど、そんな話が伝わって

います。こうした洪水のため、長伏の米の収穫量は少なく、農民は貧しかったといえます。しかし、昭和初期から堤防の強化や河川改修が始まり、水害は少なくなりしました。特に狩野川放水路の建設により、狩野川の水を排水できるようにしてから大きな水害はなく住みやすくなったといわれています。

長伏には狩野川の旧河道である「松毛川」と呼ばれる短い川があります。長伏に接する狩野川の湾曲部に捷水路(河川の氾濫の原因である蛇行部を直線化するために設けられた人工水路)が引かれたのは昭和十二年のことです。この工事によってかつて狩野川の一部だった松毛川は、三日月形の「止水域」になりました。

さて、この松毛川の名前の由来は、御園、松本との境にある長伏の小字「松毛」に由来していると思われる。また、沼津側の名称「灰塚川」も沼津市大平の小字が由来となっている。

中郷郷土史研究会によると、松毛川を通称「マツゲノオンド

シ」といい、川漁の穴場であったといえます。「オンダシ」とは「押し出し」の訛った言い方です。土砂が押し出された地など、災害が多い地域の地名に使われていたりしますが、ここは単純に狩野川から押し出された水がたまった場所というような意味でしょうか。

松毛川の上流は湖沼化しており(三日月湖とも呼ばれる)、下流には狩野川との間に水門が設けられています。このような地形のせいもあり、水質はほかの河川と比べてやや悪くなっています。巨木が密植する河畔林と水辺空間は、狩野川の原因であり、貴重な自然が残っています。



▲中郷村小字図(昭和初期)

ぼくの おじいちゃんおばあちゃん

当番 たかぎ れおさん

ぼくのおじいちゃんとおばあちゃん
は農家です。毎年、お兄ちゃん
弟といっしょに玉ねぎの収穫を手
伝います。葉っぱの根元を持って、
力を入れて玉ねぎをぬきます。今度、
じゃがいもをとる約束をしていて、
とても楽しみです。

育てた野菜を使って、おばあちゃん
が美味しい料理を作ってくれます。
ご飯を食べながらぼくのなやみを聞
いて、かいけつさくをいっしょに考
えてくれます。

ぼくは、やさしいおじいちゃん
おばあちゃんが大好きです。



鈴木和希(63才) 敬枝(63才)
高木 怜央(向山小 6年)